

確定日（令和02 年 07 月 29 日）

事業コード	03020406	政策コード	03	政策名	新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略								
事業名	肥育経営安定緊急対策事業	施策コード	02	施策名	複合型生産構造への転換の加速化								
		指標コード	04	施策目標(指標)名	大規模畜産団地の全県展開								
部局名	農林水産部	課室名	畜産振興課		班名	調整・畜政・経済班		(tel)	1806	担当課長名	畠山英男	担当者名	伊藤東子
評価対象事業(計画)の内容											事業年度	令和02年度～令和02年度	
1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか) 新型コロナウイルス感染症の影響による枝肉価格の急落により、大きな影響を受けている肉用牛肥育経営体が生産基盤を維持できるよう、再生産に必要な素牛導入を支援する必要がある。				3. 事業目的(どういう状態にしたいのか) 肥育経営の再生産を支援するとともに、家畜市場の活性化及び子牛価格の下支えをすることにより、繁殖経営を含めた肉用牛生産基盤の維持・強化を図る。 (重点施策推進方針との関係) ○ 重点事業として要望 ● その他事業として要望									
				4. 目的達成のための方法 ①事業の実施主体 公益社団法人秋田県農業公社 ②事業の対象者・団体 肉用牛肥育経営体 ③達成のための手段 肉用牛肥育経営体に対し、再生産に必要な素牛導入に係る費用の一部を定額助成する。									
2. 住民ニーズの状況 ①ニーズを把握した対象 ■ 受益者 □ 一般県民 (時期: R02 年 04 月) ②ニーズの把握の方法 □ アンケート調査 □ 各種委員会及び審議会 ■ ヒアリング □ インターネット □ その他の手法 (具体的に) ③ニーズの具体的内容 枝肉価格が前年比70%程度まで急落したことにより、経営が悪化。再生産に必要な資金確保に支障を来している。経営安定交付金が発動したが、算定方法の変更により本県の交付額が低下したことから、支援が必要である。				④比較した代替手段及び選択した手段の有効性 既存の経営安定交付金のみで支援を行わない場合、生産費と粗収益の差額の穴埋めは、大規模な経営体ほど困難なことから、全県の素牛導入頭数や県産牛の出荷頭数の減少、子牛需要の急激な減少を抑制するには、本事業の手法が有効である。									
◎把握してない場合の理由及び今後の方針													
①理由													
②今後の方針													
5. 事業の全体計画及び財源													
順位	事業内記	左 の 説 明			02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	単位(千円) 全体(最終)計画		
01	肥育経営安定緊急対策事業	肉用牛肥育経営体に対し、再生産に必要な素牛導入に係る費用の一部を助成する。			73,400	0	0	0	0	0	73,400		
財源内訳		左 の 説 明			73,400	0	0	0	0	0	73,400		
国庫補助金													
県債													
その他													
一般財源					73,400	0	0	0	0	0	73,400		

